

福島第一原子力発電所 3号機原子炉建屋内調査について

2021年5月24日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

【1～3号機原子炉建屋の長期健全性評価について】

- 1～3号機原子炉建屋については、損傷状況を反映した耐震安全性評価を行い、基準地震動Ssに対して十分な耐震安全性を有していることを確認している。
- 一方、デブリ取り出し完了までの長期にわたって建屋健全性を確認していく必要があるため、耐震安全性評価で考慮している耐震壁等の耐震要素について、経年劣化や地震時の追加損傷等の有無を確認し、必要に応じて耐震安全性評価モデルに反映していく。

【今回調査の目的】

3号機について、耐震安全性評価で考慮している耐震部材（シェル壁、プール壁、耐震壁）の今後の外観点検計画の立案のため、下記の調査を行う。

- 耐震部材周辺の状況調査（現状確認、外観点検が可能な箇所の選定用）
- アクセスルートの状況調査（ロボット・ドローンによる調査計画検討用）

【調査対象】

3号機原子炉建屋

2階：耐震壁(プール下部の東面)周辺、シェル壁周辺

3階：プール壁(西面)周辺、南東階段周辺(ドローン等のアクセスルート)

- 実施予定日：2021年5月25日（火）A M
- 調査箇所：3号機原子炉建屋 2階および3階の調査（R α zone）

- 調査概要

- 【2階調査】

- 調査経路：2階南東階段～東側通路～北側シエル壁

- 調査方法：ウェアラブル型3Dスキャン装置（360°写真，点群データ取得）
360度カメラ（360°動画）

- 調査時間：9分程度（行き2分，調査5分，帰り2分）

- 調査体制：3名（撮影，照明，線量測定）

- 計画線量：5.0mSv（APD設定値：4.0mSv）

- 【3階調査】

- 調査経路：3階南東階段周辺～西側プール壁周辺

- 調査方法：360度カメラ（360°動画）

- 調査時間：10分程度（行き4分，調査3分，帰り3分）

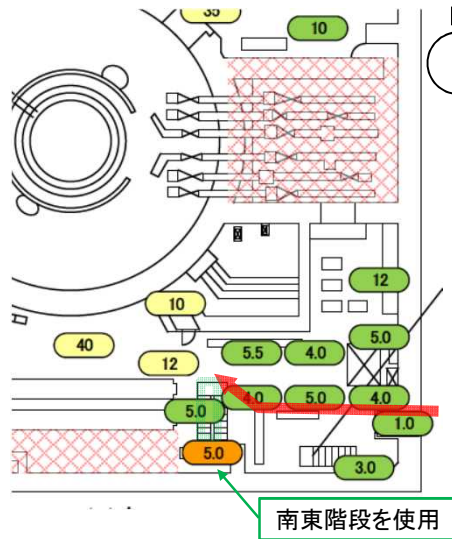
- 調査体制：2名（撮影兼照明，線量測定）

- 計画線量：2.5mSv（APD設定値：2.0mSv）

- その他：1,2号機については今秋実施を目途に計画中。

3号機原子炉建屋内調査 2階調査ルート

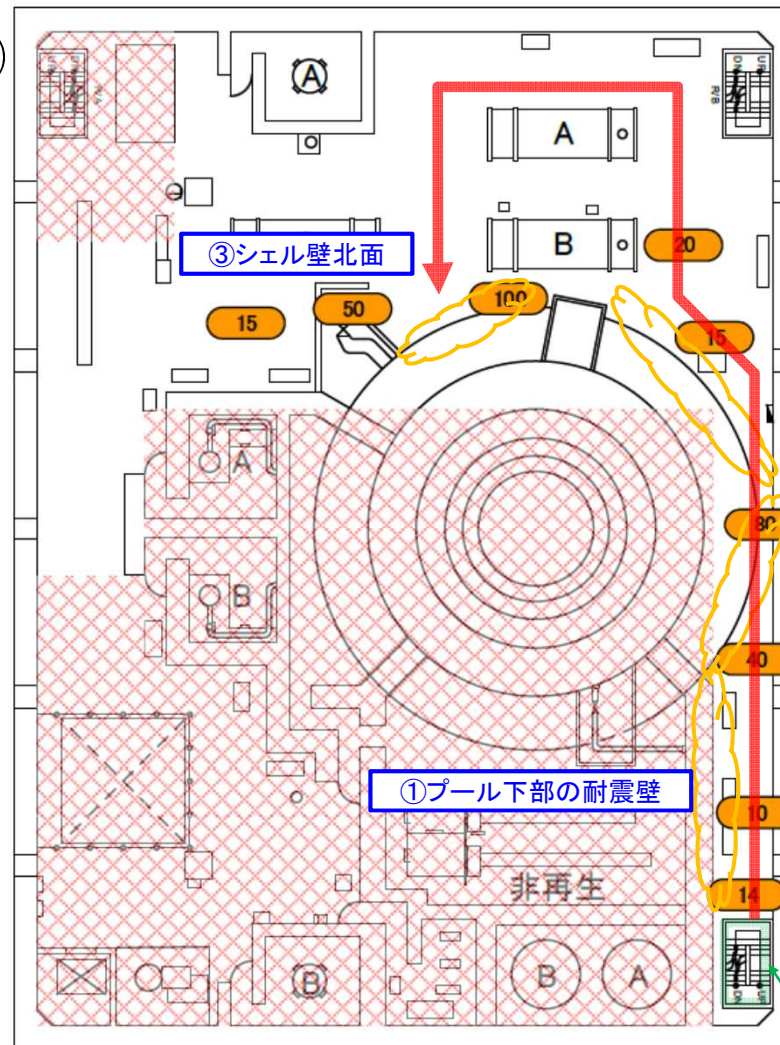
2階：①プール下部東側壁面⇒②シェル壁東面⇒③シェル壁北面



1階(南東部)平面図



2階調査の撮影・照明機材



2階平面図



参考写真: シェル壁東面(5号機2階)

②シェル壁東面



参考写真: シェル壁東面(4号機2階)



3号機原子炉建屋内調査 3階調査ルート

- 3階：①南東階段周辺の状況確認（東側通路へのドローン等のアクセス可否）
②プール壁西面周辺の状況確認（ハッチ開口脇の瓦礫の散乱状況）

